

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	第 2 外国語 A II (ドイツ語)	
科目基礎情報							
科目番号		0095		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		知能機械工学科		対象学年	5		
開設期		通年		週時間数	2		
教科書/教材		『Navigation ins Deutsche 3.0 (ドイツ語ナビゲーション 3.0) 』 (朝日出版社)					
担当教員		吉田 芳弘					
到達目標							
読み、書き、聴き、話す言語運用に関する能力のうち、時間的制約上「読む」ことに重点を置く。初級学習者用に簡単なドイツ語で書かれているテキスト (通常 6 0 時間のドイツ語学習の後に使用する読本レベル) を、辞書を使って正確な日本語に 6 割程度は翻訳できる読解力の養成を目標とする。(外国語の習得 = D) またドイツ語圏の文化に接し、ニュースに意識的に触れることで、アメリカ的視点と価値観を相対化して世界を多面的に見て理解するとともに、翻って自国のあり方も意識的に考える素地を作る。(「他の文化への配慮と共生」 = A)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1		到達目標の最低80%を習得している。		到達目標の最低70%を習得している。		到達目標の60%に達しない。	
評価項目 2							
評価項目 3							
学科の到達目標項目との関係							
D JABEE D							
教育方法等							
概要		学習内容は 3 区分される。すなわち、ドイツ語圏の文化を教員が学生に紹介するもの、学生が自主的にドイツ語圏のニュース等を収集するもの、そしてドイツ語文法の学習とテキストの講読である。通常の授業では、主に第 3 に挙げた「文法の学習とテキストの講読」を行う。					
授業の進め方・方法		学生は教科書にあるテキストを予習する。授業においてテキストの内容を確認し、理解が不徹底な箇所について確認し、解説を加える。 折に触れ、教員はドイツ語圏の文化の紹介を行なう。 学生は、新聞記事からドイツ語圏のニュースを切り抜き、コメントを付してノートにまとめ提出する。					
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業の紹介、日本で見られるドイツと Made in Germany (身近なドイツを体験する)		授業に参加し、切手や食料品といったドイツ語圏の国々の製品に触れる。		
		2週	ドイツを旅する私 (旅行ガイドを使っでの旅の計画)		旅行計画を立てることを通じて、ドイツ語圏の国々を身近に感じる。		
		3週	Lektion 1 (規則変化動詞の現在人称変化の確認テキスト)		授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。		
		4週	Lektion 1 (動詞の現在人称変化の確認テキスト)		授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。		
		5週	Lektion 2 (名詞の性・数・格、格変化の確認テキスト)		授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。		
		6週	Lektion 3 (規則変化動詞の現在人称変化、命令形、人称代名詞の確認テキスト)		授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。		
		7週	Lektion 4 (定冠詞類、不定冠詞類のついた名詞の確認テキスト)		授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。		
		8週	Lektion 5 (前置詞の用法の確認テキスト)		授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。		
	2ndQ	9週	前期中間試験				
		10週	定期試験の返却と解説、ドイツ語の歌を歌える私 (音読の集中練習)		試験問題の確認。授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。		
		11週	Lektion 6 (話法の助動詞、未来形の文、複合動詞、接続詞の確認テキスト)		授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。		
		12週	Lektion 7 (動詞の3基本形、過去時制、完了形の文確認テキスト)		授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。		
		13週	Lektion 7 (動詞の3基本形、過去時制、完了形の文確認テキスト)		授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。		
		14週	Lektion 8 (再帰動詞、ZU不定詞の確認テキスト)		授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。		

後期		15週	前期期末試験	
		16週	試験答案返却・解答解説 ドイツの映画を見る（前編）	試験問題の確認。 映画を見ることを通してドイツ語圏の文化・歴史に触れる。
	3rdQ	1週	ドイツの映画を見る（後編）	映画を見ることを通してドイツ語圏の文化・歴史に触れる。
		2週	Lektion 9（形容詞の用法の確認テキスト）	授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。
		3週	Lektion 9（形容詞の用法の確認テキスト）	授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。
		4週	Lektion 10（受動態の確認テキスト）	授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。
		5週	Lektion 10（受動態の確認テキスト）	授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。
		6週	Lektion 11（指示代名詞、関係代名詞の確認テキスト）	授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。
		7週	Lektion 11（指示代名詞、関係代名詞の確認テキスト）	授業に参加し、4年生で学習した基本文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	定期試験の返却と解説、 文法の説明（接続法）	試験問題の確認。 4年生では詳しく学習していない文法項目について解説を聞き理解する。
		10週	文法の説明（接続法）	4年生では詳しく学習していない文法項目について解説を聞き理解する。
		11週	Lektion 12（接続法の確認テキスト）	授業に参加し、第9週、第10週で学習した文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。
		12週	Lektion 12（接続法の確認テキスト）	授業に参加し、第9週、第10週で学習した文法の確認をしながら、簡単なものから段階的にテキストを読めるようになる。
		13週	簡単なテキストを読んでみる（総合練習①）	教科書のテキストからはなれ、いろいろな種類のテキストを読み、意味の概要が理解できるようになる。
		14週	簡単なテキストを読んでみる（総合練習②）	教科書のテキストからはなれ、いろいろな種類のテキストを読み、意味の概要が理解できるようになる。
		15週	後期期末試験	
		16週	試験答案返却・解答解説	試験問題の確認。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合						
	定期試験	提出物			合計	
総合評価割合	70	30	0	0	0	100
	70	30	0	0	0	100
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0